



みんなの力でみんなの幸せを

s a w a r a b i

さわらび

1

January
2008
vol.417

医学
講座

「雑感:細胞生物学よりみた“がん”化と老化」

名古屋大学医学部名誉教授 小島 清秀

特集

高齢者や障がい者が安心して暮らせるために
さわらび会がめざすもの



謹んで新年のご祝詞を

申しあげます

さわらび会は、みんなの力でみんなの幸せを守るために働いております。

今年からは、大災害に見舞われた時、一般の避難所での受け入れが難しい認知症や障害者の皆さんの避難を、福祉村でお受けすることにいたします。

いつでも、どなたでも、お気軽に福祉サービスをご利用いただける「福祉コンビニ」を市内各地に増やしてゆき、この「福祉コンビニ」で、深夜、早朝、いつでもご要望に応じてヘルパーを派遣することと、学童保育もあわせて実施してゆきます。

皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

二〇〇八年 元旦



さわらび会理事長
山本 孝之



長寿医学研究所

研究通信

news of study

Vol. 1

福祉村病院 長寿医学研究所 所長
(前小一ノハト医科大学神経病理学研究所教授)

堀 映

当長寿医学研究所では他の迫随を許さぬ国際的な研究活動が継続展開されているが、その具体的内容を今後シリーズで紹介してゆく。

当所の研究は、方法論が基礎医学的であっても、福祉村病院憲章と基本理念に基づき、常に臨床からの発想、臨床への応用を基本とする。また社会の要請、厚生労働省の政策などによる病院経営の現実にとった将来の研究方向を探らねばならない。当所の研究体制をみてみよう。

当所は平成十六年に文部科学省の科学研究費補助金取扱規程に規定された、数少ない民間の研究所以である。山本孝之理事長の統括の下に顧問、研究補助員(技術者)、病棟や外来

の医師、薬局、看護、介護、栄養、その他病院の全職員に支えられて研究が成り立っているが、まずその研究員の顔ぶれを紹介する(敬称略)。

当所設立に主体的な役割を果たした岡田秀親は当時名古屋市立大学院分子生物学教授(現名誉教授)で、現在福祉村病院先端治療担当、

長寿医学研究所担当副院長として最も活動的、野心的で先端の研究を実施牽引する。内容は蛋白質の分子レベルでの解析、免疫とりわけ補体機能の直接の臨床応用から新薬の開発と、国際的にも最先端のものである。

副所長赤津裕康は岡田秀親の大学教授時代以来の研究員で、当所開所から最も精力的かつ継続的に当所の原動力として研究の実践により歴史を築いてきたが、他施設との多面的な共同研究に積極的に参画し、経済的側面を含めた現在の運営実務を含めて当所不可欠の研究員である。

「LAKER」療法をはじめ、近代的な分析技術を駆使できる石黒雅江の地道で堅実な研究活動と、大学院生古谷愛晴の情熱的な研究が当所のもう

ひとつの歯車となっている。顧問の福祉村病院長小橋修は、佐賀医科大学教授として感染病研究を専門とし、

現在同大学名誉教授で、当所での毎週のセミナーにおいても、また医療の現場での研究成果の応用と教育とにおいて大役を果たしている。

病理学、とりわけ細胞生物学、また生化学的病理学といってもよい領域を専攻する顧問小島清秀は奈良県立医科大学、名古屋大学教授を歴任し、現名古屋大学名誉教授であり、当所での剖検例の確定病理診断に重要な役割を果たすのみならず、細胞培養など実験研究の指導に欠かせない存在である。

当さわらび会老人保健施設ジュゲム施設長金井芳之は東京大学医科学研究所助教授から当所所長として赴任、現在なお東京大学客員研究員として膠原病、免疫学方面で国際的に活躍中である。

なお山本孝之は愛知医科大学の、岡田、赤津、堀は名古屋市立大学院の非常勤講師を兼任する。

地域に広がる

明日香のクッキー

明日香のクッキーが、デンソーで働いている方の帰省のお土産として使っていたできるようになりました。

きっかけは、昨年八月に開催した夏休み親子福祉体験にデンソーで働いている方が参加され、明日香でクッキーを作っていることを知り、その方が会社に提案して下さい、今回、お土産として使って頂けることになりました。

明日香で作っているクッキーが地域に広がり、多くの方に美味しいと口づけて頂けるようこれからも頑張りたいと思います。



DENSO
思いやる 心ひとつで 事故はゼロ

連休中の無事故・無違反を願いながら心をこめて大切に作りました。

社会福祉法人 さわらび会
社会福祉センター 明日香
(豊橋市野島町 福祉村内)

交通安全のメッセージの入ったクッキーをお土産にふるさとをめざします!!

クッキーのご用命は…
知的障害者授産施設 明日香
☎(0532)46-6579

「雑感・細胞生物学より見た がん“化と老化”」



名古屋大学医学部
名誉教授
小島 清秀

昨秋に、ヒト皮膚の試験管内培

養細胞から、胚性の幹細胞（生殖細胞を始め、人体のすべての臓器を作る能力のある万能細胞）と同様な多分化能を有する細胞を作ること、日本の研究者（京大 山中伸弥教授グループ）が成功したニュースが報じられました。

これまで胚からしか作ることが出来ず、再生医療の立場から倫理的な問題が指摘されて来ましたが、今回の研究により、種々の問題を解決することが出来る糸口を与える研究として、大きく報じられました。こ

の事実からも解るように、最近の20年間の細胞生物学的研究の進歩は、真に目覚ましいものがあります。

今回は細胞生物学の立場より、細胞のがん化と老化について考えてみたいと思います。

A) 細胞内シグナル伝達システム

生体内の細胞は、周囲の細胞とお互いにシグナルを交換しつつ機能しています。周囲細胞からの情報は、細胞膜（形質膜、細胞内膜）の受容体を介して受け取り、細胞内に伝達しています。受容体のシグナル受容から、機能発揮に至るまでの一連の働きをシグナル伝達と言います。脂溶性ステロイドホルモンやビタミンなどを除いて、水溶性ホルモン、神

経化学物質、細胞増殖因子などは細胞膜上にある特異的な受容体に結合し、受容体の高次構造の変化がシグナルとなり細胞内に伝えられ、様々な細胞応答が引き起こされます。シグナル伝達系は受容体の種類によって次の四つに大別されます。

(1) G蛋白質（グアノシン三リン酸結合蛋白質ファミリー）共役系

G蛋白質は細胞膜上の受容体と結合して、細胞内にセカンドメッセンジャーを産出し、シグナルの伝達、増幅因子として機能している蛋白質で、環状アデノシン一リン酸系と、イノシトール1,4,5三リン酸やアシルグリセロールをセカンドメッセンジャーとするイノシトール燐脂質情報系があります。

(2) イオンチャンネル系

受容体がイオンチャンネルを形成し、イオンの流入、流出を制御して、生理活性を修飾する系。

(3) チロシンキナーゼ系

受容体が蛋白質のチロシン残基を

燐酸化する酵素活性を持ち、蛋白質の燐酸化により、その機能を修飾する系。

(4) グアニル酸シクラーゼ系

受容体にグアニル酸シクラーゼ活性があり、環状グアニル一リン酸を生ずることによりシグナルを伝達する系。

以上の4系統があり、それぞれの分子機構が明らかにされています。

一九七〇年代に登場したがん遺伝子の多くのものが、シグナル伝達機構に関与する蛋白質をコードする遺伝子で、それらはいずれも変異を起こしています。正常細胞の蛋白質は、調節可能な状態でシグナル伝達を行います。変異遺伝子で作られる蛋白質は調節が効かず、増殖方向にのみシグナルが流れ、その結果として細胞が不死化し、がん化することになります。

B) 細胞の不死化

試験管内培養条件で増殖し続けるようになることを、細胞の不死化(細胞の株化)と言います。一般に動物細胞は培養条件下で高い増殖能を示す細胞種でも、何回かの分裂の後に分裂能を失い死んでしまいます。この現象を細胞の老化と言います。ヒト繊維芽細胞の場合50〜60回とされています。正常細胞に培養下でSV40ウイルスのT抗原遺伝子を導入すると、分化形質を発現した状態で不死化されます。この遺伝子はp53(53キログルトン蛋白質)をコードする変異した遺伝子を含んでいます。この事は、p53遺伝子の変異が細胞の不死化に密接に関係している事を示します。多くのヒトがん細胞で、p53遺伝子の変異が観察されています。

ヒト正常細胞と不死化したヒトがん細胞を融合させると、融合細胞はやがて増殖を停止することから、細

胞の老化の機構の方が遺伝的に優性であるとされています。細胞老化に伴い、増殖を負に調節する因子が発現されると考えられます。また、異なる不死化細胞を融合させると、老化が誘発される相補現象も観察されています。

正常細胞の有限の増殖性を規定する装置の一つとして、染色体(遺伝子構成DNA)の末端にテロメアと呼ばれる特殊な部分があり、この部分はDNA複製に際して完全には複製されず、分裂の度に短くなっていきます。この事が細胞寿命と関連していると考えられています。テロメアの長さは遺伝子の安定性に必要で、テロメアが短縮して遺伝子の不安定性が増加することが老化の要因と言えます。

C) 幹細胞の加齢に伴う変化

体内臓器には器官を再生する能力を持つ細胞があり、体性幹細胞と言

います。生体のがん化、老化に直接関連する細胞は体性幹細胞であり、加齢とともに数的減少が見られます。幹細胞はニッシュと呼ばれる特定の場所に存在し、ニッシュを構成する周囲細胞から増殖情報を受けて増殖性を保持しています。加齢に伴い、ニッシュ構成細胞の機能低下が起り、幹細胞は機能を失い、やがて死滅する運命をたどります。これに環境要因による遺伝子の障害、その修復に伴うエラーなどの因子が加わり、

細胞内の自爆装置が働いたためです。大多数の幹細胞はこの様な仕組みで加齢と共に減少しますが、遺伝子の障害修復に際して、不死化獲得の方向に向かうエラーが時に起こって来

ます。その様な細胞が「がんの芽」です。細胞は不死化を獲得しているの

で、生体内でクローンを形成し、増殖を繰り返し、更に遺伝子の変異が加味され、「がん」として認知されるようになります。

細胞レベルで見た場合、細胞の老

化から細胞死への経路、細胞の不死化からがん細胞への経路は、途中までは同じ経路を歩むことがご理解いただけると思います。分かれ道のところで、がん抑制遺伝子のコードしている蛋白質の一つであるp53が重要な働きをしていると考えられています。それらの詳細な分子機構については、現在も尚、盛んに研究されているところですが。

今回は少し専門的になり過ぎましたが、お許しください。要は、老化もがん化も生体内細胞がたどる必然的な運命の一環であると言う一言に尽きるでしょう。



『第七回福祉村サミット』

参加報告

特別賓客として入ホムさわらび荘 施設長

太田 育郎

平

成十九年十一月二十六日(土) 七日、鳥取県米子市において

「第七回福祉村サミット in 米子」が開催され、福祉村サミットの発起人であり、第一回を担当したさわらび会山本孝之理事長をはじめ、山本ゆかり専務理事(第二さわらび荘施設長)、安形健郎施設長(あかね荘)、太田が参加いたしました。

会場となりました養和病院の地域交流センターには、黒松内つくし園(北海道)、両館厚生院(北海道)、長岡福祉協会(新潟県)、芳香会(茨城県)、天竜厚生会(静岡県)、聖隷福祉事業団(静岡県)など全国各地より総勢約五十名が集結し、盛大な会議となりました。

はじめに、今回開催担当の「社会福祉法人こうほうえん 廣江 研理 理事長」が挨拶された後、厚生省(当

時)人省後各課でご活躍され、現在は鳥取県福祉保健部長寿社会課長兼

医療制度改革担当参事の三好 圭氏による「今後の社会保障制度と介護報酬のゆくえ」の講演から初日は開始されました。引き続き午後は、齊藤和明氏(天竜厚生会)、水田寿子氏(こうほうえん)、安形施設長の

三氏より「人材育成と生涯教育」についての実践報告が行われ、安形施設長からは機関誌「さわらび」の発行、「朝の言葉」、さわらび大学の

実施や福祉村キャラバン隊、子育て支援、そしてこのサミット発案当時の取り組みなど、さわらび会の様々な活動が報告されました。会場内では、福祉村サミット開催の意義が再確認されるとともに、長岡福祉

協会の田宮 崇理事長よりご発言があり、新潟県中越沖地震時のさわらび会による移動入浴車派遣による入浴支援活動や、大型発電機の物資支援活動に対して、あらためて山本理

事長に感謝の言葉が述べられました。その後、日本社会事業大学専門職大学院准教授の藤井賢一郎氏より、

「社会福祉事業と介護保険制度の未来」の講演が行われましたが、その中で会場内で配布した「さわらび」

について触れられ、さわらび会の歴史や理念・活動に高い評価をいただきました。そして、初日の会議日程は終了し、引き続き「レストラン

アザレアコート」(高齢者向け優良賃貸住宅アザレアコートこうほうえん内)にて懇親会が開催されました。一日目は、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課長補佐の徳永光則氏、

ならびに聖隷福祉事業団常務理事の武居 敏氏によるシンポジウム「社会福祉法人の使命と経営改革」が行われ、その中で特に、コーディネーター役のこうほうえん廣江理事

長から、建物は出来たものの人材不足によりオープンできない施設が少なからずあること、また、今後も職員不足が見込まれるため利用定員の減員(施設内の一部閉鎖)を検討し

は始めている施設が非常に多いことなどが報告され、今きわめて深刻な問題である「福祉人材の確保」について活発な意見交換が行われました。

安全な福祉村を

目指して

共同防災訓練の実施

福祉村では毎年、空気の乾燥しやすいこの季節に共同防災訓練を実施しています。今回の訓練では明日香隣の枯れ草から出火したことを想定し、訓練を行いました。まずは、出火させない事が一番大切ですが、万一の時にはすぐに初期消火にあたるよう、今後も訓練に励み、安心して暮らせる福祉村を目指して行きたいと思えます。



●12月21日(金)に行われた共同防災訓練の様子

さわらび会の就労支援

知的障害者更生施設あかね荘では、平成19年9月より就労支援部門を設置し、ジョブコーチ事業を行っています。ジョブコーチとは、事業所に出向いて障がい者の職場適応を高めるための指導を行うスタッフのことです。現在2名のジョブコーチを配置し、

- ① 支援計画の作成
 - ② 障がい者に対する支援
 - ③ 事業者に対する支援
 - ④ 家族に対する支援
- 等を行っています。

日東電工ひまわり様では、あかね荘を卒業し、グループホームでの生活を送り、現在結婚生活を送っている方1名、人暮らしへの移行を考えている方1名を「障害者トライアル雇用」を経て就労支援を行っています。

人間関係のトラブル・結婚生活へ



●ジョブコーチによる支援風景

の援助・人暮らしへ向けての準備等、様々な困難な場面にもぶつかり、何度も継続就労が難しくなったこともありましたが、事業所・生活支援センター・ジョブコーチが連携をとり、現在支援を開始し4年が経過しました。

20代前半の若い2名の支援は、就労面と生活面とのバランスが重要なポイントとなってきました。「ひまわり」では年2回の家族・支援センターとの懇談会や月1回の個別相談等を取り入れていただき、常に生活支援センターとの連携を密にとつていただいています。

さわらび会では、障がいをお持ちの方の「思い」を大切に、これからも就労支援に取り組んでいきたいと考えています。

インド福祉村協会だより 「みんなの力で インドに幸せを」

インド福祉村協会では、民族、宗教を越えて日本とインドの両国民が共通の価値観を共有し、互いに学び合うことを理念として、インド国の医療に恵まれない人々に対して、プライマリ・ヘルスクエアを中心とする地域医療活動と生活改善を通じての公衆衛生活動及び不就学児童らに対する教育推進のための援助を行っています。

昨年は、インド福祉村病院（現地名・アーナンダ病院）を基点として「保健衛生教育と人材育成」を目的にICCAとの間で契約を結び、9月より事業を開始しました。11月には、インド福祉村病院よりグプタ院長をお招きし、日本における衛生教育及び感染症の最先端医学の研修の場を提供いたしました。12月からは、基礎的保健衛生の知識普及や母子衛生の向上を目的とした講習会を始めました。また、講習会の会場となる教

育ホールの建築も始まりました。みんなの力でインドのみなさんの幸せを実現するために、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲福祉村病院で研修するグプタ医師



◀ 妊婦講習会の様子
▼ 建設中の教育ホール



特集

高齢者や障がい者が安心して暮らせるために

さわらび会がめざすもの

福祉コンピニの更なる充実を

高

高齢者や障がい者の皆さんが安心して生活するためには、住居、見守り、食事、医療、介護などが重要となります。辛い福祉村で生活する利用者の皆さんは、このような安心は確保されています。そして、より幸せに生活していただけるように世代を超えた交流が出来るような環境がこの福祉村には整えられています。このような体制を地域に作る事が出来れば地域で生活する皆さんも安心して暮らすことが出来るのではないのでしょうか。

そのために、さわらび会では、現在地域に開設している福祉コンピニの更なる充実を目指しています。

相談支援機能の再編

さ

さわらび会では、現在、高齢者分野で、ケア所の地域包括支援センター、障がい者の分野ではケア所の生活支援センターが積極的に活動していますが、最近の「さわらび」

で取り上げられているように、高齢障がい者の問題や高齢の家族が重度の障がい者を介護している家庭で、家族全体のサポートが必要なケースも増えており、「高齢者」、「障がい者」の分野を超えた支援が必要となっています。

現在は、支援センターも年齢、障がい別の専門分野に分かれ、それぞれが連携を取りながら活動していますが、将来的には、あらゆる相談支援も一括して受ける「地域総合支援センター」ができることが求められています。

また、今まで介護保険施設でも施設利用になると在宅の情報共有はあってもケアプランは共有することはあまりありませんでした。ケアプラン上では在宅生活と施設生活は分断された状態になっていたのです。

それが、ようやく施設ケアプランと在宅のケアプランの連続性が問われるようになり、在宅と施設のケアプランの連携シートが模索され始めています。そして、障がい者の分野でも、在宅で生活している六五歳以

上の方は原則介護保険が優先され、まずまずその連続性が問われてきています。

支援センターを統合することにより、障がい者や高齢者が在宅や施設どこにいてもケアプランの連続性をもてるようになり、分野を越えた支援をしていくことが出来るのではないかと考えています。

福祉コンピニでは、二四時間三六五日、いつでもサービスを提供できるように整備してきました。

今後、団塊の世代が高齢を迎え、福祉サービスの需要が増大していくと思われれます。それに伴い表れてくるであろう老老介護や、社会的弱者である高齢者や障がい者の緊急時の対応等、困ったときにすぐ対応可能な支援が求められるのは間違いありません。

そこで、福祉コンピニの二四時間対応ができるという特色を活かし、今までの目の中に加えて、夜間のホームヘルパー派遣を目指して、体制を整えてゆきたいと思えます。

また、現在福祉コンピニでは、サ

ロンと称し、地域で生活しているお年寄り、障がいを持った当事者やその家族、支援職員など様々な方が気軽に交流のできる機会を設けています。この機能を更に充実し、学童保育のように、地域で暮らしている子供たちが集まり、世代の超えた交流のできる機会を作って行きたいと考えています。

福祉コンビニの充実による安心住空間

- 在宅で生活する高齢者・障がい者も夜間を含め24時間安心して生活できる体制の整備
- 市内及び田原市の拠点に福祉コンビニを設置
- コンビニには相談機能、デイサービス、ヘルパー派遣、グループホーム、子どもとの交流スペースなどを設置
- 各福祉コンビニは周辺地域のみなさんの安心を守ってゆきます



障がい者への更なる支援を

私

たちさわらび会では、利用者の方の生活と安心を守るために活動していますが、今日の課題のひとつとして障がい者の方が住民と共存して暮らすということが挙げられると思います。

施設より在宅、という流れの中でいかに安定した収入を確保し、安心して暮らすか。言葉で表すのは簡単ですが、現実にはしようとすると、住居、近隣住民の理解、金銭を得るための職場の確保という問題を解決しなければなりません。

さわらび会では、ケアホームやグループホームを介らせて市内に「一ヶ所運営」しています。ホームへの入居のためには費用の面から就労が欠かせないため、支援センターとあかね荘で始めたジョブコーチ事業を連動し、ハローワーク等と協力し職場の斡旋を今以上に活発にしなければなりません。と思われま

す。ジョブコーチは、本人が意欲を持って働き続けるために、本人を含め周

りの理解と協力への支援を行っていますが、受け入れ事業所の従業員の方には、日々の忙しさや、「障がい者」への理解の難しさからか、常時関わる事ができないというのが本音としてあるようです。

そこで、今後法人としてもっと多くの一般事業所の見学等を多く取り入れ、誰でも気軽に見学ができるようPRしていく必要があります。

また、利用者が安心して住めるように、地域の方にも生活ぶりを見学していただき、お互いに安心して暮らしてゆけるように、今後とも支援してゆきます。

専門職としてのたゆまぬ努力を

さ

さわらび会には高齢者、障がい者の利用者の皆様より多種多様なニーズが寄せられます。それらに対応するためには、常に現状についての確認をしながら、そこにある様々な問題を正確に捉え、解決のために積極的に活動していく必要があります。

そのためには、まず第一に、さわらび会内部の各部署、事業所、担当者らが緻密に連携することが極めて重要です。

また、法人全体研修、新人研修などを行い、職員の働く意欲、質の向上、チームワークを高めてゆく必要があります。

このように、さまざまな面から職場環境を改善していくためのたゆまぬ努力が大切です。なぜなら、さわらび会の各種の会議、研修を含めたすべての活動こそが、「私たちにしかできない、私たちがすべきことを常に考え続け、実行すること」であり、また職員が幸せでなければ「みんなの力でみんなの幸せを」というさわらび会の基本精神が達成できなくなるからです。そして、このことこそが、さわらび会で働く私たちの喜びであり、使命であると考えます。





●Photo/IMAHARA Taro (TIPP)

ファンのメッセージをエネルギーに

左近が始動

2 007年、左近選手はヨーロッパのGP2というF1直下のカテゴリで開幕戦を迎えた。ここでは、ただ速く走るだけでなく、マシン

の状況を正確に収集してエンジニアへの確かな指示を出し、チームのマネージャーからも絶賛される多彩な能力を見せてチームを救った。

その実績がF1関係者からも高い評価を受け、8月からは念願のD1復帰を果たし、世界を転戦する中で確実な進歩を遂げた。常にトップグループを目指し、決して最後までレースをあきらめない。左近選手の闘志は一時たりとも緩まなかった。

こうして高いモチベーションで数々の活躍をみせた左近選手を支えたものは、世界中のファンの応援だった。ファンの応援があるからこそ、ど

んなに過酷な状況でも常にフレッシュして走り続けた。

テレビのバラエティ番組では誠実な人柄が目立ち、とても世界最高峰のレースで命がけの戦いをしている現役レーサーには見えないことも。そして、左近選手は11月には大変忙しい中でスケジュールを調整し、福祉村のさわらび文化祭を訪問。普段サーキットに駆けつけることが難しいたくさんのファンのために、最後の一人まで笑顔でサインや握手に応じていた。「左近さんと握手したよ!!」と、飛び跳ねるように喜ぶ利用者の方がとても印象的だった。



GO SAKON

みんなの夢を乗せ 左近が走る

文化祭で、左近選手が握手してくれてうれしかった。

富士スピードウェイで、左近さんの活躍が間近で見れてよかったです。

今年の日本GPで、もう一度左近さんの果敢な走りが見たい。

左近さんの夢に、私の夢を重ねて応援しています。
どんなに忙しくても、お体だけは大切にしてください。

いつも、私の声が届いていると信じて応援しています。

今年もがんばって!

昨年も忙しい一年だったようですね。

左近さんの活躍を見てました。

これからも日本一のドライバーとして
世界で活躍してください。

左近さんのブログ、
いつもチェックしています。
ブログが更新されるたび、
みんなで楽しく見せてもらってます!

いつもテレビの前で応援しています。

世界中の色々な国での活躍、

本当にお疲れ様です。

今年もF1での活躍を期待しています。

がんばれ左近選手!!

日本のトップドライバーになりましたね!!

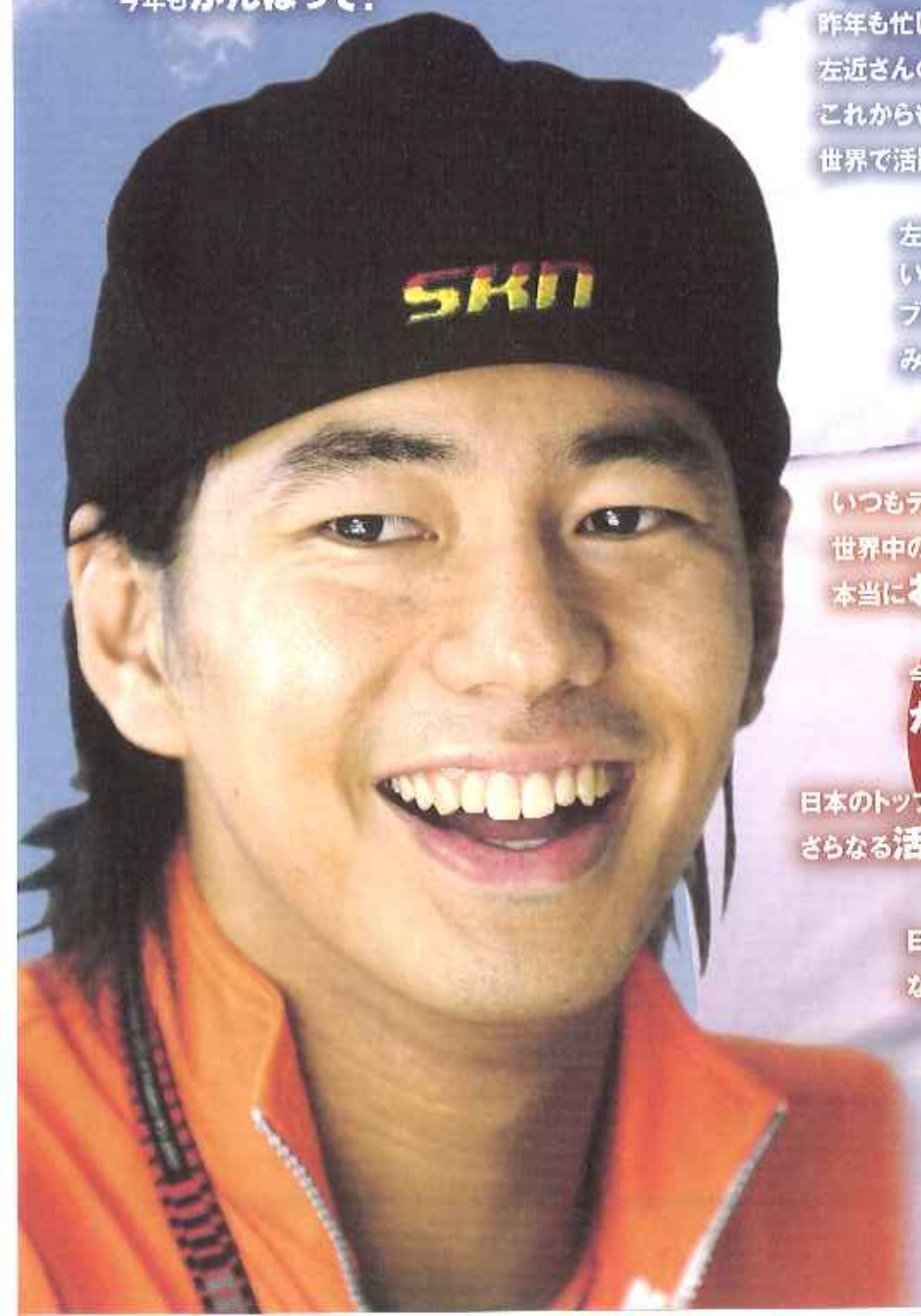
さらなる活躍を期待しています。

日本人初のF1チャンピオンに
なってください!!

富士のレースはすごかった。

あの天候で見事な完走。

感動した!!



直筆の書で
季節を彩る

ユケムの施設長・東京大学客員研究員
金井 芳之



11月もおわりに近づくと、高度下メートルの八ヶ岳高原は雪を見られないものの、既に冬到来である。春とは打って変わって殺風景な高原に、いつしか夕間迫り来て、気がつけば東の空には満月に近い大きな月が光々と輝きを増し、西には、夕日が今まさに山の稜線に消えなるとしてゐる。遙か南の彼方には雲海を突き抜けて霊峰富士の山が、その威光を放っているではないか。何と大自然の壮大なことよ。寒さが深々と身にしみる高原に出で立ちて、雄大な自然に對峙した時ふと明日の我が身をそれに委ねたくなる。



遠く高上

野宿りの甲斐に

月照らす



さわらび日記

11月19日・11月16日・12月15日

■福祉村病院・シユケム
11月16日 病室訪問会

新城市・新城市社会福祉協議会主催認知症支援委員会にて伊知弘之副議長がアドバイザー業務を行う。さわらびの会職員白交野ノブ太郎、ボニール大倉、飯村地区市民会、飯村地区市民会、飯村地域協議会の会主催懇談会にて伊知弘之副議長が基調講演「認知症の手助」を行う。

20日 新城市社会福祉協議会主催ケアマネジャー研修会にて伊知弘之副議長が「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

22日 福祉村サミット（飯村）にて理事外出（29日）

26日 NIST勉強会「胃腸機能低下と栄養管理」福地九斗によるCDの進捗報告。

27日 新城市社会福祉協議会主催介護者教室にて「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

29日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

30日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

12月4日 インド福祉村サミット（飯村）にて理事外出。新城市社会福祉協議会主催認知症支援委員会（大下）にて伊知弘之副議長がアドバイザー業務を行う。「認知症の理解と対応」について講演。

5日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

6日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

7日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

10日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

13日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

■さわらび荘
11月20日 老人ホーム「二河野町福祉協議会」施設長

21日 全国老人福祉協議会研究協議会（近藤 白井 芳 菜田 未、鈴木 誠、22日）
年次総会（飯村）
介護支援専門員研修会（飯村）
介護支援専門員研修会（飯村）
介護支援専門員研修会（飯村）

22日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

26日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

27日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

28日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

29日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

30日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

12月15日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

16日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

17日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

18日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

19日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

20日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

21日 飯村地区市民会主催「認知症の理解と対応の仕方」について講演。さわらびの会「介護職員への支援をすすめる」知的障害者施設「鈴木正俊あかね荘」職員、生活支援センター。

「田原市民ウォーキング」に参加して

田原市障害者生活支援センター

去る12月2日(日)、田原市において「市民ウォーキング」が開催されました。市民の皆様より声をかけていただき、田原市障害者生活支援センターでは障害をお持ちの皆さんと共に参加しました。

当日は晴天に恵まれ、シェルマ古胡(吉胡貝塚史跡公園)までの約8キロを一般の市民の皆様と、途中ゲームや交流をしつつ、皆でゴールすることができました。これからも市民参加の行事に参加し、地域の皆様との交流を行っていきたいと思っています。



▲ゴールの後みんなで集合

豊橋知的障害者テニス協会主催 秋期テニス大会開催

あかね荘障害者生活支援センター

11月25日、豊橋知的障害者テニス協会主催秋期テニス大会が開催されました。当日は19人が参加し、にぎやかにまた真剣に大会が行われました。普段の練習にはたくさんの地域のボランティアさんや利用者さんが集まり、交流の場ともなっております。

知的障がい者の余暇支援はまだまだ大変に遅れています。そんな中で、「始めた頃はラケットも上手に振ることができなかったのに、今は打ち返せるほどになったよ」という御家族の喜びの声を励みに、これからも余暇支援に力を入れてゆきます。



開催日	開催場所	主催/協賛
12月3日	全国介助者福祉推進協議会(正副会長選挙)	会津(山本龍樹、中尾)
7日	愛知県障害者福祉推進協議会(会長選挙)	古川
10日	愛知県障害者福祉推進協議会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
11日	東海北陸ブロックカンントリーミーティング	山本龍樹、中尾
12日	中部ブロックカンントリーミーティング	山本龍樹、中尾
14日	介助者福祉推進協議会(山本龍樹、中尾)	山本龍樹、中尾
12月16日	愛知県障害者福祉推進協議会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
26日	本組(山本龍樹、中尾)	山本龍樹、中尾
27日	本組(山本龍樹、中尾)	山本龍樹、中尾
28日	愛知県障害者福祉推進協議会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
29日	愛知県障害者福祉推進協議会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月5日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月10日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月12日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月15日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月16日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月17日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月18日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月19日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月20日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月21日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月22日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月23日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月24日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月25日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月26日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月27日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月28日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月29日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月30日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾
12月31日	豊橋市立立派協賛会(会長選挙)	山本龍樹、中尾



福祉村病院 副院長
伊莉弘之



室戸岬の北西十キロ程の行当岬にある第二十六番竜頭山（りゅうとうざん）金剛頂寺（こんごうちょうじ）。第二十五番津照寺から約四キロ。自動車で二十分。歩くと一時間三十分。

第二十四番最御崎寺が「東寺」と呼ばれるのに対して、この寺は「西寺」と呼ばれる。三方三千平方メートルという寺領は東寺と同様に広大である。境内は

広々としていて、お遍路さんや参拝者の足音は周囲の森に吸い込まれていく。

弘法大師がこの地で修行をしていた頃には、たぐさ



んの天狗がいて人々に害を与えていたので、大師が天狗を退却させたという伝説も信じたくなる。

「天狗って本当にいたの？」と中一の娘。

金剛頂寺の本尊は、弘法大師が刻んだ薬師如来。この薬師如来は完成したとたんに、自分の手で堂の扉を開いて自らそのまま鎮座したと伝えられる。「弘法大師は動く仏様を作れたんだあー」と小三の娘。

金剛頂寺の大師堂の横には、弘法大師が「合三勺の米を入れて炊いたら万倍に増えたという」「一粒万倍の釜」が置いてある。そこで母と妻がひそひそ話。「このお釜、持って帰りたいわねえ。」

●介助用電動車いす

ハイパワー型 アシストホイール

介護保険対応

簡単操作

ラクラク介護

問い合わせ先

- 福祉村指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 46-3566
- さむらい指定居宅介護支援事業所 ☎(0532) 51-3521
- 福祉村病院訪問看護部 ☎(0532) 46-7521(代)
- 福祉サービス ☎(0532) 66-1011



- 1) 上り坂 モーターが補助してラクラク!
- 2) 下り坂 自動的にブレーキが働き安心!

外出は自立への第1歩です。アシストホイールなら、申しすによる介護をパワフルにアシストできるため介護する方の負担を大幅に軽減し、らくらく介護を行うことができます。

さわらび会後援会
寄附ご芳名
 H19・11・15・12・14

- 市内野依台一丁目七〇番地 参萬円 藤原謙氏
- 市内牧野町九〇番地 伍千円 小松ウメ氏
- 新城市南畑七四番地 貳萬円 光田辰雄氏
- 市内東芝町四七番地 貳萬六千円 梅村敏夫氏
- 市内牛川通五丁目一〇番地 貳萬円 中野興服店
- 市内大清水町字富士見八〇四番地 壹萬円 榊松谷建設
- 市内小池町三六番地 伍千円 共和印刷機
- 市内高塚町神田六八番地 伍千円 山京敏明氏
- 市内中岩山三丁目二二三番地 壹千円 白井良治氏
- 市内藤生町西豊和九一九番地 壹萬円 林 昭氏
- 市内登町三〇番地 壹萬円 轄中野新松商店
- 市内瓜郷町前川五〇一〇番地 壹萬円 鈴木弘生氏
- 市内間屋町一五〇番地 壹萬円 藤スズケン
- 市内東田町一五四番地 壹萬円 滝竹田商店
- 市内飯村北二丁目二二六番地 壹萬円 滝川川器械店
- 市内東臨三丁目一七番地 壹萬円 森山由利子氏
- 市内白河町〇〇番地 壹萬円 中部アスレック
- 市内神野埠頭町 壹萬円 神野臨海株式会社
- 市内東新町三一四番地 壹萬円 朝日医工新和
- 市内野依町山中一九一四番地 四千元 福祉村病院職員有志
- 匿名希望氏 貳萬伍千円
- 匿名希望氏 壹萬円

一、匿名希望氏 壹萬円
 その他匿名希望多数の方より
 ご寄附頂きました。
 計 貳拾四萬六千円
 現在までにご寄附いただきました金額は
八億零千八百拾九萬 四千四百四拾円

募金方法(インド福祉村)
 ■振込先
 郵便振替・郵便振込 口座番号
 〇〇八三〇一七一六五〇〇八
 インド福祉村協会
 ■連絡先 経費老人ホーム若菜荘
 番四八一一一三八まで

インド福祉村協会
寄附ご芳名
 H19・11・15・12・14

- 名古屋市中区新築一七七一番地 四万七千五百円 東海労働会
- 名古屋市昭和区山花町五〇番地 生寿会 医療法人 酒井宏氏 理事
- 市内野依町字山中一九一四番地 七千五百円 インド福祉村病院募金箱
- 名古屋市東区大曾根二一六七番地 伍千円 丹羽富孝氏
- 名古屋市中区大須四一六三番地 伍千円 杉本 登氏
- 名古屋市北区大曾根二一七一七番地 壹千円 岩山英子氏
- 名古屋市瑞穂区日向町三二二三番地 貳千円 野田直邦氏
- 名古屋市北区大曾根二一七二〇番地 壹千円 桐原きの枝氏
- 名古屋市東区徳川二一五八番地 貳千円 堀水誠一氏
- 名古屋市東区徳川二一三三番地 壹千七百円 工藤淑子氏
- 名古屋市北区比町八二五番地 参千円 三島みさ氏

- 名古屋市東区東大曾根二一七二四番地 壹千円 橋口奈都子氏
- 名古屋市東区代官町八一七番地 壹千円 森田光春氏
- 名古屋市東区徳川二一五二八番地 貳千円 柴田 輝氏
- 東京都港区二丁目二二番地 貳万貳千円 株インバックスジャパン社長 K・L・Bahl氏
- 兵庫県丹波市柏原一六三番地 壹萬貳千円 廣崎秀行氏
- その他匿名希望多数の方 壹萬零千円
- 計 壹拾貳萬貳千九百貳拾貳円

お礼コーナー
 ありがとうございます

- ※印は豊橋善業銀行を通じてお菓子・日用品等寄贈※
- ▼善銀サンタ訪問 (さわらび荘・第二さわらび荘 珠津社・あかね荘)
- ▼杉本製菓様 ※さわらび荘、ゼリー寄贈※ (しらがね・明日香)
- ▼ファーストオンステージ様 ノロレス招待券※ (明日香)
- ▼谷川小学校様 ミカン寄贈 (若菜荘)
- ▼高根小学校様 副校舎 (若菜荘)
- ▼野依小学校様 訪問交流 (若菜荘)
- ▼藤ノ花高校様 車イス寄贈 (若菜荘)



◆歳末たすけあい街頭募金

今年も12月7日(金)に、豊橋駅前とジャスコ豊橋南店の店頭にて歳末街頭募金を行わせていただきました。

募金は、豊橋市社会福祉協議会を通じ、全額共同募金会に寄附させていただきました。

歳末街頭募金額・**321,864円**

ご協力ありがとうございました。

山本理事長傘寿のお祝い会とさわらび忘年会の開催

12月15日(土)にさわらび会忘年会が開催されました。その席で、今年80歳になられた理事長先生の傘寿を来場者一同でお祝いし、忘年会がスタート。

各施設からは、趣向を凝らした出し物が用意され、参加された職員や子供たちが楽しいひと時を過ごしました。

謹賀新年



●「正月の飾り花」(珠蔭荘 アレンジメントフラワー教室)
「ねずみの置物」(若葉荘 陶芸教室)

みんなの力でみんなの幸せ

2008年1月1日発行 早蕨 第417号
(昭和62年2月21日第三種郵便物認可)
充実した医療と福祉

- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ☎(0532)37-1209
- ケアハウスカサ デローザ ☎(0532)47-1050
- むすび老人ホーム 若葉荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠蔭荘 ☎(0532)47-1050
- 知的障害者更生施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 知的障害者授産施設 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所しらがね ☎(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(豊野町) ☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生 ☎(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 ☎(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市安町) ☎(0531)45-3828



社会福祉法人
さわらび会

編集・発行者：武田和敏 印刷：共和印刷所 定価：100円

■表紙作品：若葉荘と学童保育の餅つき

編集後記

謹賀新年

ところどころでは年賀状派、年賀メール派、それとも全く出さない派？私は、年賀状派のデジタル派(パソコンで作成印刷)。そして貰って嬉しいのはアナログ(手作り)の年賀状。みなさんもきっと毎年心待ちにしている年賀状があるのではないのでしょうか。最近インターネットやEメールの普及で年賀状の売上げは右肩下がりがたさうです。しかし、私のところには、メールでの年賀状が殆ど来ないところを見ると、私は若者ではないと、言うことでしょうか。年賀状も時代とともに変化しますが、世の中を生き残ることが出来るのは、変化にすぐ対応できる人だとも言われています。さてみなさんは……。(武田)